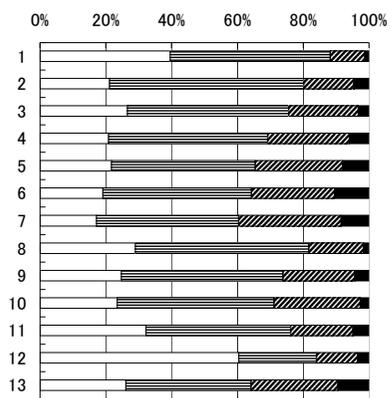
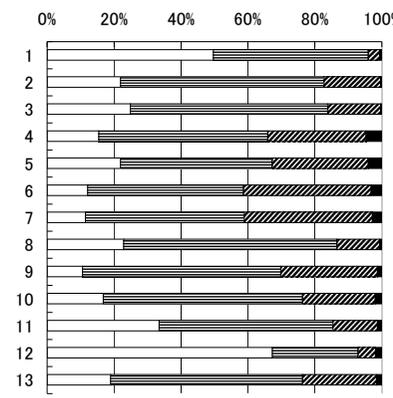
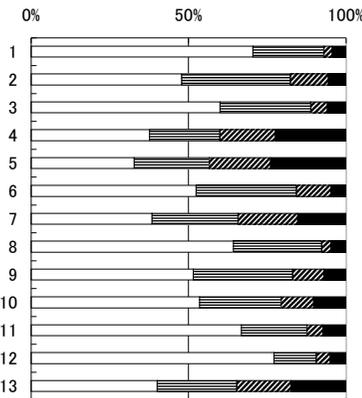


平成19年度 後期  
子どもたちの評価

平成19年度 後期  
保護者の評価

平成19年度 後期  
教職員の評価

アンケート項目
1 学校では、楽しくすごせていますか。
2 できないことが、できるように、挑戦している。
3 自分やみんなのものを大切にすることができる。
4 自分から学習する習慣がついている。
5 早寝・早起きなど規則正しい生活ができています。
6 じっくり考える学習ができています。
7 人の話をしっかり聞き、考えて自分の意見を言うことができる。
8 授業で学習したことが、理解できている。
9 自分のよいところを伸ばし、悪いところを直そうとしている。
10 他の人のよいところをほめたり、おてほんにしようとしていたりしている。
11 友だちや身近な人にあいさつをしている。
12 朝は集団登校で学校に来て、帰りは通学路を守って帰っている。
13 廊下や階段で遊ばずに、静かに歩いている。



子どもたちは、自分のことについて評価しました。保護者の方には、自分のお子さんについて評価してもらいました。担任は自分のクラスの子どもたち、教職員は学校全体の子どもたちについて評価しました。

しっかりできている  
 ほぼできている  
 あまりできていない  
 ほとんどできていない

この2つの合計(%)が、大きくなるほど、高い評価と判断できます。

<平成19年度 後期の学校評価を振り返って>

(子どもたちの評価)

○子どもたちは、全般的に高い評価をしています。特に「学校で楽しくすごせている」「物を大切にしている」「授業が理解できている」など高い評価をつけているのは、大変うれしいことです。  
▲「自分から学習する習慣」「規則正しい生活」「人の話をしっかり聞き、しっかりと自分の意見を言う」「廊下や階段を歩く」の4つの項目では、努力が必要です。子どもたち一人ひとりの努力も大切ですが、家庭や学校での支援も重要だと考えています。

(保護者の評価)

○子どもたちの評価と同じように、「学校で楽しくすごせている」「物を大切にしている」「授業が理解できている」などの項目で高い評価を頂いています。これらの項目は、学校生活の基本であり、引き続き、高い評価を得られるように、学校全体として、努力していきたいと考えています。  
▲「じっくり考える」「人の話をしっかり聞き、自分の考えを発表する」の評価が低くなっています。特に「人の話をしっかり聞き、自分の考えを発表する」ことは、学習面だけでなく、日常生活や社会生活を送る上でも大切な力です。

(教職員の評価)

○子どもたちの評価や保護者の評価と同じように、「学校で楽しくすごせている」「授業が理解できている」の項目で高い評価をしています。  
▲「規則正しい生活」「じっくり考える学習」「人の話をしっかり聞き、自分の考えを発表する」「廊下を静かに歩く」の評価が厳しくなっています。また、「他の人のよいところをほめたり、おてほんにしたりする。」という評価は、前期の評価よりも下がっています。毎日の学校生活の中で、きめこまかい指導をしていかなければならないと受け止めています。ご家庭での協力も宜しくお願いします。

<「子どもたちの評価」「保護者の評価」「教職員の評価」を比較して>

○子どもたちの評価・保護者の評価・教職員の評価が同じように、「学校で楽しくすごせている」「授業が理解できている」の項目で高い評価をしています。これらの項目は、学校生活の基本であり、好ましいことだと考えています。一層の努力を重ね、より高い評価が得られるように、努力を重ねていきます。

- ・ 「保護者の評価」と「教職員の評価」が、概ね似通った傾向にあります。保護者の方々と教職員が同じような目線で、子どもたちを見ることが出来ている表れだと考えています。
- ・ 「じっくり考える学習ができる」という項目では、子どもたちの評価に対して、保護者や教職員の評価が厳しくなっています。子ども達は出来ているつもりでも、保護者の方々や教職員から見るとまだ不十分なことだと思えます。子ども達の思いは大切に受け止めながら、保護者の方々と教職員と一緒に意識的に関わっていきたく思います。
- ・ 前期に比べて評価の高くなっているところもありますが、上記に挙げたところでは、評価が下がっています。年度当初の緊張感というものが、薄れていることも考えられます。年度末・新年度とまた、気持ちを引き締めて、指導にあたっていきたく思います。ご協力宜しくお願いします。